



キネマ えな
No.29

発行/えな「心の合併」プロジェクト代表 小坂潤示
電話/0573 (26) 1211 恵那商工会議所内

行ってみよう!

53年前の恵那・中津川へ

— 岩村発～えなここ経由～青い山脈行き —

昭和32年製作 「青い山脈」上映

東宝映画社 25周年記念作品 主演：司葉子、雪村いづみ、宝田明

53
ポイントと3時間上映!

来たる5月16日(日)、えなここは林監督など関係者を招いて、恵那の映画・仮題「ふるさとがえり」製作の詳細を発表します。
当日は、主要キャストや脚本の紹介の他、公開オーディションなど今後のスケジュールの発表も予定しています。

その後!

今から53年前に恵那・中津川で撮影された映画「青い山脈」前・後編の上映会を行います。また、当時の撮影風景を写した写真もロビーで展示します。

この映画の撮影に関わった方には、懐かしいシーンを久しぶりに思い出ししていただきましょう。

かつて「青い山脈」が上映された頃、恵那の人たちは、ストーリーなどそつちのけで、スクリーンに映る背景ばかり見ていたとか(笑)。

また、この映画の存在さえ知らない若い方には、53年前の恵那がどんなだったかを知るいい機会になるでしょう。

今では見ることができない半世紀前の恵那・中津川!お隣に座っているお年寄りにシーンの説明をしてもらってください。今世紀初の上映、なおかつ裏話を聞きながら見ることができるとは、もしかしたら今回が最後になるかも...
ご来場お待ちしております。

仮題「ふるさとがえり」製作ボランティア大募集

今年の夏、えなここは恵那のまちを舞台に映画を製作します。映画づくりには、多くの人の協力が必要です。この活動に興味&関心のある方は、5月16日午前11時に岩村公民館にきてください。あなたの動ける時間内で結構です。一緒に映画づくりを楽しみましょう!

日時：5月16日(日)

午後1:00～ 仮題「ふるさとがえり」記者発表

1:30～ 映画「青い山脈前・後編」上映

場所：岩村町公民館 ※入場無料

仮題「ふるさとがえり」製作協賛金 ご協力ありがとうございます(敬称略) 4月15日現在ご入金分

- 10口以上** 安藤和文 安藤琢也 安藤久俊 安藤精 安藤洋子 安藤克子 飯野里恵 井口亜紀子 磯村昭子 磯村すみ子 市岡義春 市川小苗 市川徳夫 市川武一 市川里恵子 伊藤浩 稲田かな子 鶴飼洋子 遠藤高 大野明博 岡田小百合 奥田英治 奥村勇人 小栗修平 各務一彦 各務公明 各務周和子 各務義臣 笠木薫 梶田和夫 可知敦子 可知恵美 可知貴志子 可知宏一郎 可知徳彦 可知弘子 加地美和子 可知弥恵 可知優子 加藤宣義 金森正樹 木全永三子 熊谷春彦 小池彰仁 小坂和弘 小坂千晶 小坂智恵子 小坂信夫 小坂美和 小木曾ひとみ 後藤治己 小林初世 近藤猛 酒井珂代子 佐々木久美子 澤田政和 渋谷知樹 鈴木晟彦 鈴木昌子 鈴木衛切 鈴木幸宣 砂場喜好 鷺見和也 鷺見知英子 鷺見千鶴 鷺見典幸 鷺見美紀 曾我すま子 曾野高志 高垣寿 高橋宏行 高柳淑子 田口浩昭 田中季美子 谷村雅明 田村国雄 柘植浩司 柘植利昭 柘植秀幸 柘植洋平 土屋昭弘 土屋良司 寺嶋好明 樋田一成 遠山和真 遠山百合子 富田有里 中川郁子 中島正明 長嶋まち子 永田いきいきサロン 34名 成瀬喜久子 西尾重人 西田ちづ子 丹羽道枝 野田光子 服部京子 服部直美 林正彦 林真澄 林実 林美知代 原田昭夫 原田紀子 ビタミンI 中野 日比野明春 平林小夜子 藤井敏美 藤原享子 古川弘子 古田美代子 堀栄子 牧野紀代子 牧野隆充 松下和夫 松下恵二 松永晴美 松原浩吉 松原良三 松久雄二 間野知宏 丸山福美 三浦幸代 三木友香里 水野静江 水野美秋 水野昭良 三宅須磨子 三宅澄子 三宅多恵子 三宅貴子 三宅哲夫 森直 安田松三 柳瀬一宏 山内武司 山口和美 山口岳志 山口達夫 山田三博 山本喜之 吉村春夫 和田光夫 和田素子 渡辺三千成 渡辺靖 匿名2名
- 5口以上** 加藤功 熊崎佳代 鹿野正春 下畑茂 鷺見知英子 (株)centwave.com(岩井慶次) 千早保之 樋田千浪 永野司
- 10口以上** 居酒屋 KORAYA 恵那ダイハツ(株) 恵那バッテリー電装(株) 風のたより一同 (株)河村機工 中部食産(株) 東海エコシステム(株) 肥田敏雄 (株)フジシマヤ 鯉川公子
- 100口以上** 各務原 YEG (株)ワタナベ (株)アミックスコム 工藤日鶴 鎌田満

3
い
る
た

ついに、「えなここ」全国発信!

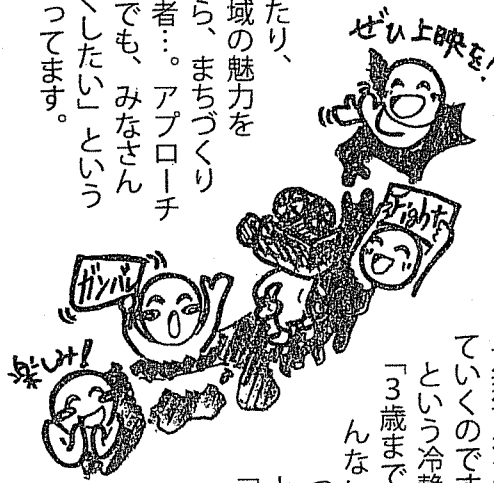
by ゆい いち

去る3月21日。桜の花が開き始めた東京の慶應義塾大学で、北は北海道から南は宮崎まで全国のまちづくり熱心な9団体が集まり、お互いの活動報告、情報交換の場として「風のたより2010」が開催されました。

札幌ではベンチャー経営者が集まる「Bizカフェ」を

展開していたり、山形では地域の魅力を勉強しながら、まちづくりを進める若者…。アプローチはさまざまでも、みなさん「まちを良くしたい」という思いで頑張っています。

そんな熱い人達の前で「えなここ」のPRムービーを上映してきました！恵那では評判が良くても、全国の人には思いが通じるのか、僕らの独りよがりじゃないだろうか不安でした。



ところがどっこい!

大・好・評!

「恵那に行ってみたくなった」

「まちづくりに『映画』というツールは名案!」

という嬉しい反応が。中には、「資金は大丈夫ですか?」

「恵那市役所はどのように関わっていくのですか?」

という冷静な意見や、「3歳まで過ごした恵那が、こんなに元気で温かいと知って感動しました」

という声も。さらに、「本編ができたらぜひ上映に来てくださーい!」

と予約まで! 本編が完成したら全国キャラバンできそつです!

恵那市のみなさん、今は恵那は全国から注目されていますよ!

さ、後は本編を作るだけです! そこがとっても大変ですけど…

ミニ小説 キネマの森⑬

「母」

作：みゆらー

その春、私は三歳だった。

父は大変な子煩悩で、私をとてても可愛がってくれた。しかし母は非常に怒りっぽく、私はよく些細なことで叱られ、たまに甘えようとする无邪険にあしらわれた。その時の母の顔は眉間に縦皺が刻まれていて、鬼のように見えた。母が私に近づくとしたら、私を叱る時ぐらゐのものだった。

ゆえに、父が帰宅するまでの間、恐ろしい母と二人で過ごすのは苦痛だった。

ある日のお昼時だった。

私は、うっかり手を滑らせて茶碗を床に落としてしまった。私の粗相を激しくなじる母の甲高い声。私は泣きながら会社で働くやさしい父のことを思った。おとうさんのところにいきたい…。

私は家を出て、父のいる会社の方角に向かって歩き出した。

家の近くにあるひょうたん池のそばを通るとき、悲しい気持ちでいっぱいだった。



池を過ぎると、今度はとてつもなく心細くなった。再び視界が涙でにじんだ、その時だった。

私の名を呼ぶ母の声。甲高いけど、さつきとは違ってやわらかい。母は、私の後をつけてきたのだった。

おかあさん! 私は母のエプロンに顔をうずめて泣いた。

家までの道のり、母は私の手を引いて歩き、ひょうたん池のところでいろいろな花を摘んでくれた。タンポポ、スミレ、ナスナ、ホトケノザ…。

母は花の名前を覚えてくれた。私の手には小さな花束ができた。

その日の母は、とてもやさしく美しくさえあった。

だが、何かのはずみで再び鬼の形相に戻るのかと思うと、幼心に空恐ろしく感じたのだった…。

目標達成
3千万円

☆いい映画をつくらせて！横グラフ☆

2,000万円

1,000万円

現在
2,525,000円

